

診療収入の見込み

(実績概数から)

- 2,3月も10 - 1月と同様の成績だった場合
15,887,157千円
 $7,444,967 \times 0.99 + 5,735,111 \times 0.99 \div 4 \times 6$
- インフルエンザによる病棟入院停止、医師移動の影響で
入院件数が70件減少として約7000万円の減
(外来は影響受けないとして)

収入見込み 約15,817,157 (千円)
予算 15,730,884 (千円)

薬剤・材料費の見込み

(実績概数から)

4 - 1月 (入院) 27.8%

年度末予測 (全体) 36%

15,887,157 × 0.36

薬剤材料費見込み 約5,719,376 (千円)

予算 4,876,574 (千円)

診療に関わる収益見込み

診療に関わる収益は

予算に比べて756,529千円のマイナス

- * 診療収入は 86,273千円の増
- * 薬剤材料費842,802千円の増

診療収入以外の収入・支出

・ その他の収入・支出 240,802千円の収益増
(12月末実績から経理が試算)

・ 支出増

人事院勧告の実施

63,137千円

小括

ここまでをまとめると

842,655千円の赤字

予算	263,801千円の赤字
診療収入・支出	756,529千円のマイナス
その他の収入・支出	240,802千円のプラス

(12月末実績から経理が試算)

人事院勧告 63,137千円の支出増

現在計算に入っていない要素

- 購入価格の一括交渉委託の効果
- 査定率の低下
- 標準的コストに向けての取り組み
- 取り切れていない加算

平成27年度決算見込み

7億8千万±1億円の赤字

不確定な要素

2・3月の患者数

1月以降の薬剤・材料費以外の取組の効果

査定率

入院件数の推移

年月	入院件数
H26.4	933
H26.5	985
H26.6	993
H26.7	1,004
H26.8	923
H26.9	951
小計	5,789
H26.10	999
H26.11	914
H26.12	936
H27.1	1,007
H27.2	846
H27.3	898

年月	入院件数
H27.4	923
H27.5	870
H27.6	942
H27.7	944
H27.8	911
H27.9	913
小計	5,503
H27.10	1,002
H27.11	1,006
H27.12	977
H28.1	速報値 1,009

入院件数の推移

	病院全体	一般診療科	精神科
平成22年度	11,050	10,975	75
平成23年度	11,183	11,105	78
平成24年度	11,215	11,148	67
平成25年度	11,567	11,505	62
平成26年度	11,389	11,369	20
平成27年度 (1月末) (速報値)	9,497	9,497	0

入院件数・平均在院日数・一日入院患者数 (一般診療科)

	入院件数	平均在院日数	一日患者数
平成22年度	10,975	15.4	491.9
平成23年度	11,105	14.4	468.7
平成24年度	11,148	14.4	469.5
平成25年度	11,505	14.1	474.9
平成26年度	11,369	14.0	467.1
平成27年度 (1月末) (速報値)	9,497	13.2	440.7
年度想定 (※)	11,437		

(※) インフルエンザによる病棟入院停止、年度末を考慮

入院一日単価の内訳

	一日単価 (円)	基本料	投薬料	注射料	処置・ 手術料	検査料	画像 診断料	その他
4月	67,051	41,499	1,098	1,775	19,308	1,267	322	1,782
5月	67,348	42,346	924	1,624	19,384	1,063	311	1,696
6月	70,261	42,663	904	1,670	21,379	1,106	320	2,219
7月	71,298	42,381	2,446	1,947	20,876	1,163	329	2,156
8月	70,509	43,571	1,733	1,999	19,586	1,155	325	2,140
9月	72,808	44,249	1,622	2,148	21,224	1,246	362	1,957
10月	71,662	43,330	2,536	1,904	20,495	1,149	286	1,962
11月	72,545	42,842	3,494	1,659	20,972	1,126	349	2,108
12月	76,436	44,756	2,433	1,628	23,996	1,110	307	2,205
1月	70,877	44,383	2,007	1,493	19,625	1,057	329	1,982

一入院当たりの収入

	1入院	1日単価	平均日数	平均患者数	手術件数
4月	941,978	67,051	13.7	436.0	232
5月	1,049,444	67,348	15.1	441.2	207
6月	957,529	70,261	13.5	431.7	267
7月	996,913	71,298	13.2	429.6	263
8月	961,779	70,509	13.3	404.4	225
9月	966,403	72,808	13.2	407.8	211
10月	1,056,773	71,662	14.1	480.9	260
11月	1,004,954	72,545	13.7	468.6	236
12月	1,092,102	76,436	12.6	454.1	274
1月	975,381	70,877	14.1	451.8	251

収益改善に向けて 手術件数の確保

	手術件数 (月平均)	うち全麻 (月平均)
23年度	3,142(262)	2,290(191)
24年度	3,203(267)	2,332(194)
25年度	3,261(272)	2,272(189)
26年度	3,130(261)	2,196(183)
27年度上半期	1,402(234)	1,006(168)
27年10月	260	189
27年11月	236	169
27年12月	274	198
28年 1月	251	181

救急搬送受け入れ

年度目標 5000件 (へり搬送含む)

	受け入れ	不応需	計
25年度	4836	610	5446
26年度	4776	547	5323
27年度 (上半期)	2403	195	2598
27年10月	393	38	421
27年11月	386	21	407
27年12月	424	8	432
28年1月 (速報値)	468	11	479

外来件数の推移（一日平均）

	病院全体	一般診療科	精神科
平成22年度	1218.0	1132.9	85.1
平成23年度	1191.9	1104.0	88.0
平成24年度	1203.0	1112.8	90.2
平成25年度	1187.1	1107.4	79.7
平成26年度	1141.5	1107.9	33.6
平成27年度 (1月末) 速報値	1107.4	1092.5	15.0

診療収入の推移

(単位：千円)

	病院全体	一般診療科	精神科	診療報酬改訂
平成22年度	14,838,522	14,378,872	459,650	+0.19%
平成23年度	14,742,790	14,295,319	447,471	
平成24年度	15,071,260	14,659,149	412,111	±0.00%
平成25年度	15,975,361	15,605,065	370,296	
平成26年度	15,264,784	15,146,326	118,458	-1.26%
平成27年度想定 (診療報酬等概数から)	15,817,157	15,811,996	5,161	DPCⅢ群→Ⅱ群

薬剤・材料費の推移

	額 (千円)	診療収入に占める比 率 (%)
平成22年度	4,187,758	28.2
平成23年度	4,408,261	29.9
平成24年度	4,727,054	31.4
平成25年度	5,377,833	33.7
平成26年度	5,434,581	35.6
平成27年度想定	5,719,376	36.0

消費税支払い額

- 平成25年度 … 477,082千円
- 平成26年度 … 793,318千円

5% → 8%時の補填率

70.5% : 400床以上の病院 (日本病院団体協議会2015)

92.43% : 公立病院 (中医協報告2015)

大規模病院、設備投資を行う病院ほど補填されない

平成28年度診療報酬 改定率

改定率 - 1. 3 1%

- 診療報酬本体 + 0. 4 9%
- 薬価等 - 1. 2 2%
- 材料価格 - 0. 1 1%
- 市場拡大再算定 - 0. 1 9%
- 市場拡大再算定の特例 - 0. 2 8%

当院の対応として

- 全病棟の7対1維持
 - 厳格化された重症度、医療・看護必要度対応
 - 平成27年度実績ではぎりぎり
 - 本体分増加への対応
- ↓
- 平均在院日数のコントロール
 - 入院期間Ⅱでの退院
 - 転退院の促進
- 各種加算の確実な取得
- 手術症例の獲得

平成28年度予算案 (1)

【入院診療収入】

	予算案	10~1月実績
入院件数	987.5件/月	998.5/月
一回入院単価	1,047,597円	1,032,303円
平均在院日数	13.5日	13.7日

- ▶ 各種加算を確実に取得
- ▶ 手術件数、救急搬送受け入れ数の確保
- ▶ ICU, ECUの有効活用
- ▶ DPC入院期間Ⅱでの退院

平成28年度予算案 (2)

【外来診療収入】

一般 診療科	1日外来患者数 一日単価	予算案	4~1月実績
		950人 18,270円	1092.5人 16,150円

➤ 患者数の12.5%減

➤ DPC対応の徹底（検査等の外来シフト）

精神科	1日外来患者数 一日単価	予算案	4~1月実績
		15人 1,000円	15.0人 1,410円

外来一日単価（平成27年12月）

	患者数 (%)	収入 (%)
2000円以下	17.35	0.48
5000円以下	30.14	1.44
15001円以上	42.48	92.06

平成28年度予算案 (3)

薬剤・材料費比率 : 34%

* 平成22年度	28.2
平成23年度	29.9
平成24年度	31.4
平成25年度	33.7
平成26年度	35.6
平成27年度	36

(想定)

* GHCの分析 (病院説明会)

平均的施設との差：年間約5億円

薬剤・材料費比率のコントロール

- * コストカット委員会
- * 価格交渉
- * 後発品切り替えの促進
- * GHC分析の各診療科への提示と説明会の開催
3月1日：消化器外科
以後、各科ごとに進めていく予定

薬剂・材料費と収益

	額 (百万円)	比率 (%)	収益 (百万円)	赤黒分岐比率 (%)
22年度	4,188	28.2	+1,408	37.8
23年度	4,408	29.9	+577	33.8
24年度	4,727	31.4	+490	34.5
25年度	5,378	33.7	+301	35.5
26年度	5,435	35.6	-833	30.1
27年度 想定	5,719	36.0	-780	31.2

今後の取り組みに当たって

収益悪化の原因は薬剤材料費の増加だけではない

- * 薬剤材料費以外の支出のコントロール

収益改善の取り組みが病院機能の向上に繋がる

- * 24時間365日効率的に機能できる病院
- * 隙間のない業務分担

自治体病院の使命 ～地域の医療を守る～

市立函館病院の役割（平成26年5月～）

- ✓ **救急医療**
3次救急、一定量の2次救急、たらいまわしを防ぐ
- ✓ **がん診療**
地域がん診療連携拠点病院レベルの維持
- ✓ **高度・先端医療の提供**
標準的治療、診療ガイドラインなどをふまえた上で、さらにレベルの高い医療に向けて取り組む
- ✓ **民間では守れない分野の維持**
難治性で時間のかかる疾患
多量のマンパワーの投入が必要な分野、社会的対応 等
- ✓ **地域に開かれた活動**
診療支援、メデイカルスタッフの研修 等

地域の理解と協力

- 地域住民
- 連携・役割分担する医療施設